

日本 AALA 第 55 回大会に寄せられた

海外からのメッセージ

(国名、組織名のアイウエオ順)

第 1 部

1. アジア・アフリカ人民連帯機構 (AAPSO)
2. 韓国 民主平等社会のための全国教授研究者協議会 南 基正
3. 北朝鮮 朝鮮アジア・アフリカ連帯委員会 (KCAAS) 書記局

.....

★アジア・アフリカ人民連帯機構 (AAPSO)

ヘルミ・アル・ハディディ議長

親愛なる友人のみなさん

アジア・アフリカ人民連帯機構（AAPSO）を代表して、日本 AALA 第 55 回大会に参加されるみなさんに、連帯の挨拶をおくります。AAPSO は、1957 年の創設以来、すべての人々が平和と安全を享受し、経済的、社会的、政治的権利を十分に享受できるような世界をめざして重要な役割を果たしています

私は、みなさんが今回の重要な会合にむけて、途上国であれ発達した諸国であれ、すべての諸国の安全と平和、安定、人間の命を脅かす巨大で危険なリスクから世界を救うためにともに協力していくよう心から呼びかけるものです。

私たちの世界は、核の脅威にさらされるだけでなく、至る所で引き続きテロリズムの脅威にさらされています。これまで多くの努力がなされていますが、テロの根絶には世界がいつそう結束して団結し国際的な連合をつくる必要があります。テロ組織はいくつかの国から財政的支援や援助、安全な避難所を提供されています。それらの国は、自国の利益を達成するために領土の外でテロリストを利用しているのです。主要な例はリビアの場合です。外国の傭兵が組織され送り込まれています。選挙を行って新たな指導者を選ぶにはこうした勢力の排除が必要なのに、主要国はなにも動こうとはしていません。

最近のアフガニスタンの事態をみればテロ活動がふたたび活発化する恐れあります。世界のテロ組織やグループへの支援とサポートを止めるために、私たちは声を大にする必要があります。テロリストへの資金援助や武器供給、避難場所の提供がなくならない限り、世界は安全にはならないのです。

私たちの世界はまた、大きな環境変化の危険に脅かされています。その結果はあらゆる地域に広がり、食料の不足から人間生活が脅かされています。それが何百万という人が飢餓と食料不足に苦しみ、新型コロナ危機で命をおびやかされているうえに襲ってくるのです。世界があらたな食料危機に直面するとはなんと残念なことです。今年は特に、農産物、小麦の値上がりによって各国に重い財政負担を強いています。世界が協力してこの環境危機に立ちむかわなければ、ほんとうに悲惨で厳しいことになるでしょう。

世界がこのように協力を必要としているのに、世界は貿易戦争というもう一つの危機にみまわれています。貿易が政治や経済の武器につかわれています。米中間の貿易紛争は米中両国だけでなく世界全体に悲惨な結果をもたらします。

2008 年の金融危機が世界全体に及ぼした悪影響を忘れるべきではありません

。

私たちが相互に協力し連帯すれば、平和と安全、安定を脅かすリスクから世界を守り、人類の苦しみと生活の惨めさを軽減することに貢献できると確信します。協力と連帯こそが世界の問題に取り組みに大きな力をあたえてくれます。

世界を脅かす危機に警鐘を鳴らし、核兵器とテロリズム、環境災害や飢饉の脅威的なリスクから私たちの世界を救うためにともに声を上げ続けましょう。

みなさんの活発なご議論と大会の成功を期待します。

10月13日

カイロにて

★韓国

民主平等社会のための全国教授研究者協議会

南 基正 ・ 常任共同議長/ ソウル大学日本研究所

日本 AALA の皆様、第 55 回定期大会の開催、おめでとうございます。

皆様とのご縁は 2015 年 5 月の国際シンポジウムをきっかけにしたものでした。あの時、日本 AALA の皆様の真摯な姿に心を打たれ、日本の平和運動を信頼し、平和を願う韓国の市民もこれに連帯する必要があると強く思いました。その後も日本 AALA の皆様がソウルを訪問される時には、交流会に呼んでいただいたりして、皆様とのご縁が続いていることをとても嬉しく思っております。

その後、朝鮮半島では 2017 年の戦争の危機を乗り越え、2018 年の平昌冬季オリンピック・パラリンピックに朝鮮が参加したことを契機に朝鮮半島平和プロセスが開始されました。韓国の呼びかけに北朝鮮が呼応し、朝鮮半島に平和の春がようやく訪れるような気がしました。これに反応し日本の市民社会でも、東北アジア非核兵器地帯化の議論と運動が盛り上がるなど、平和の機運は

日本に、そして東アジアに波及していくように思えました。しかしハノイでの朝米首脳会談が成果なしに終わり、平和プロセスは停滞しました。それと共に、米中対立が顕著となり、この地域は再び葛藤の国際政治が主調になりつつあります。その前線に日本の姿が目立つようになっていくことが気がかりですが、これに強く反対を唱える日本 AALA の存在が頼もしく思えます。

韓国の文在寅政府は、残り少ない在任期間に朝鮮半島平和プロセスを再稼働させるため、最後の力を振り絞っているように思われます。停戦の形で続いている朝鮮戦争を終戦宣言で終わらせることがその目標です。朝鮮戦争終結なくして、東アジアの平和はありません。

日本 AALA の皆様、朝鮮戦争終結のために、どうぞ力を貸してください。そして、東アジアに平和の共同体を築き上げるために連帯しましょう。

改めて、日本 AALA の第 55 回定期大会の開催を祝賀し、さらなる発展をお祈りします。

2021 年 10 月 29 日

★北朝鮮

朝鮮アジア・アフリカ連帯委員会（KCAAS）書記局

朝鮮アジア・アフリカ連帯委員会（KCAAS）は、日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会（日本 AALA）第 55 回全国大会に心からの祝意をお送りします。

国際舞台では、かつてなく暴力的で傲慢な特別パワーによって、非同盟諸国の主権が侵害され、これらの国々への妨害、脅迫、攻撃がますます強まっています。そのような現在の国際情勢の中で、アジア・アフリカ・人民連帯機構（AAPSO）加盟の各組織には、主権の尊重と不干渉、紛争の平和的解決を中核とした非同盟運動（NAM）の原則をしっかりと堅持するためのより活発な闘争が求められて

います。

帝国主義者による独断的な戦争の陰謀から解放された、独立した平和な世界は、
独立、正義、平和を目指す進歩的な人々がしっかりと団結し、共に闘うときにの
み構築することができます。

朝鮮アジア・アフリカ連帯委員会（KCAAS）はこの機会に、日本 AALA および
世界のすべての反帝勢力との連帯を改めて確認し、戦争のない平和な新世界の
構築にむけてさらに積極的に貢献していきます。

会議のご成功を祈ります。

（注） 日本 AALA と朝鮮アジア・アフリカ連帯委員会（KCAAS）とは直接の関
係はありませんが、今回は両組織が加盟するアジア・アフリカ人民連帯機構

(AAPSO) を通じてメッセージがよせられました。